



愛媛県新型コロナウイルス感染症対策応援基金贈呈について

令和2年7月27日愛媛県庁で中村時広知事に、会員を代表して西山周会長が新型コロナウイルス感染症に関する医療・福祉等への支援対策のための「愛媛県新型コロナウイルス感染症対策応援基金」として200万円を贈

呈しました。

目録を受け取った中村知事から「いざというときのために皆さんのお気持ちを医療の充実に活用したい」とお礼の言葉がありました。





令和2年度 第1回企画広報委員会の開催

第1回企画広報委員会を令和2年5月8日(金)に開催予定であったが、コロナ感染症対策の自粛要請を受け書面開催とすることとし、令和2年4月24日付け文書により、担当役員及び全委員に対して各議題について意見照会を行い、とりまとめた結果、以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 「えひめの資源循環」第5号(5月号)
企画編集について

・裏表紙写真は⑤に決定し、発行日は15日とする。

(2) 40周年史の発行について

・寄稿文依頼者
発刊のことば・・・西山会長
ごあいさつ・・・知事、市長、県議会議長、連合会会長
回想、思い出等・・・歴代会長、副会長

・あとがき・・・富久委員長

(3) ホームページについて

・サイドバーorトップページに有料で広告を募集してはどうか。
・次回委員会で検討する。

(4) その他

① 「えひめの資源循環」第6号(8月号)
の表紙について

・表表紙古木継続

8月号・・・玉澄さんの大楠

11月号・・・三島神社のイチイガシ

・8月号の裏表紙・・・62番札所、片岡委員

② 次回委員会の開催日について

・第6号(8月号) 令和2年8月6日(木)13:30~に決定。

上記の内容について協議し、「えひめの資源循環」第5号(5月号)を5月末に発行した。



令和2年度 第1回総務委員会の開催

第1回総務委員会を令和2年7月9日(木)リジェール松山ゴールドホールで開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 災害廃棄物に関する支援体制強化について

事務局より資料に基づき、環境省から全国産業資源循環連合会に対して発出された「産業廃棄物処理業者による災害廃棄物に関する支援体制の強化等について」及び知事に対して発出された「災害時の産業廃棄物処理業者との連携体制の強化等について」の内容及び全産連から協会に対して災害廃棄物に関する支援体制の現状点検について、えひめ協会は全国的にトップの取り組み状況であり、ほぼ対応できているが平成30年7月豪雨災害であまりできなかった災害廃棄物仮置場の運営を今後地区で具体的にどう取り組んでいくかが残る問題点であるとの説明があった。

西条地区会長より、協会地区と新居浜市が災害廃棄物処理で協議を行い、仮置場の運営管理について市から依頼があれば複数グループ（幹事社＋会員数社）が対応できる体制を整備しており、今後は西条市及び四国中央市においても同様の協議が必要との説明があった。

会長より、新居浜市の事例のように各地区役員と市町との意見交換が必要であり、県を巻き込んで協議の場づくりや地区総会で災害廃棄物の講演を行い県、市

町及び会員の意識向上を図る必要がある等の意見があり、理事会に諮ることとなった。

(2) 今後の協会のあり方について

事務局より資料に基づき、懸案となっている役員任期を四国他県協会や全産連と統一にするためには来年度選任の全役員は1年後に辞任し新たに役員を選任することで解消できる、また、次期役員の選考基準をどうするかについて説明があり、今後、次期選任に向けて総務委員会で協議していくこととなった。また、事務局より地区の災害廃棄物処理支援体制強化についても必要な旨説明があった。

(3) 顧問・行政懇談会について

事務局より、時間の関係から理事会で審議することとなった。

(4) 愛媛県新型コロナウイルス感染症対策応援基金について

事務局より資料に基づき、愛媛県新型コロナウイルス感染症対策応援基金について説明があった。

協会では、応援基金に2,000,000円を寄付することで、理事会に諮ることとなった。



令和2年度 第2回理事会の開催

第2回理事会を令和2年7月9日(木)リジェール松山ゴールドホールで開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 災害廃棄物に関する支援体制強化について

事務局より資料に基づき、環境省から全国産業資源循環連合会に対して発出された「産業廃棄物処理業者による災害廃棄物に関する支援体制の強化等について」及び知事に対して発出された「災害時の産業廃棄物処理業者との連携体制の強化等について」の内容及び全産連から協会に対して災害廃棄物に関する支援体制の現状点検について、えひめ協会は全国的にトップの取り組み状況であり、ほぼ対応できているが平成30年7月豪雨災害であまりできなかった災害廃棄物仮置場の運営を今後地区で具体的にどう取り組んでいくかが残る問題点であるとの説明があった。

会長より、総務委員会での議論の説明があり、地区役員と市町との意見交換や会員の災害廃棄物に対する意識向上が必要であることから、県を巻き込んで協議の場づくりを今年度中に図っていくことが承認された。

(2) 今後の協会のあり方について

事務局より資料に基づき、懸案となっている役員任期を四国他県協会や全産連と統一にするためには来年度選任の全役員は1年後に辞任し新たに役員を選任す

ることで解消できる、また、次期役員の選考基準をどうするかについて総務委員会での議論の説明があり、今後、次期選任に向けて総務委員会で協議し理事会に報告することで承認された。

(3) 顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、実施時期、場所、議題及び懇親会について説明があり、実施時期については、10月上旬に開催することで承認された。

提出議題については、未提出については追加提出できる。

(4) 愛媛県新型コロナウイルス感染症対策応援基金について

事務局より資料に基づき、愛媛県新型コロナウイルス感染症対策応援基金について説明があり、2,000,000円の寄付をすることで承認された。

(5) 適正処理推進事業等支援金の交付について

事務局より資料に基づき、3件の申請について説明があり承認された。

(6) 新規加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき、退会（賛助会員1社）について報告があり、承認された。

2. 報告事項

(1) 委員会報告等

- ① 第1回安全衛生委員会 (R2.4.15)
書面決議
- ② 第1回企画広報委員会 (R2.5.13)
書面決議
- ③ 第1回総務委員会報告 (R2.7.9)
- ④ 事業審査会 (R2.6.1)

事務局より一括して資料に基づき概要説明があった。

(2) 全産連委員会等報告

- ① 第47回理事会 (R2.1.16) 議事録
- ② 第48回理事会 (R2.3.10) 議事録
- ③ 第2回最終処分部会運営委員会
(R2.3.4) 議事録
- ④ 第1回医療廃棄物部会運営委員会
(R2.3.11) 議事録
- ⑤ 第60回四国地域協議会
(R2.6.4) 議事録

事務局より一括して資料に基づき、環境省の新型コロナウイルス感染症に対する基本姿勢について等全産連報告の概要説明があった。

(3) その他

- ① 今後の行事スケジュール
- ② 産業廃棄物許可申請に係る暫定講習会開催について
- ③ 研修会開催計画
- ④ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大回避に向けた取組等 (愛媛県)

事務局より一括して資料に基づき、今後の行事予定等の説明があった。



令和2年度 3Rシステム事業化促進支援事業が決定

3Rシステム事業化促進支援事業につきましては、4月10日から5月22日まで会員に対して募集したところ、3件の応募があり、6月1日事業審査会を開催して学識経験者及び行政による厳正な審査をしたところ、全件とも採択されました。

また、協会が行う3Rシステム等調査研究事業については、検討会を設置し、再資源化技術について分析検討や調査研究視察を行い循環型社会ビジネスの事業化について取りまとめるとともに、災害時における対応強化のため、災害対応知識の向上を図るための情報伝達訓練を行う他、災害時に支援可能な資機材調査を行いますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。



補助金の種類	補助対象事業	補助率	採択事業	補助額
3Rシステム事業化促進支援事業費補助金(会員)	ア 研究・開発事業 県内の産業廃棄物の3R及び減量化・製品化に資するための研究・開発及びそれを踏まえた機器整備	3/4以内 補助限度額 500万円	(有)ジー・シー・オー 過熱水蒸気によるリサイクル 事業化技術研究開発	500万円
			(株)愛亀 廃プラスチックの 道路舗装材料への利用研究	500万円
			(株)イージーエス 東予地域における廃棄物 高効率熱回収施設に関する研究	500万円
3Rシステム等調査研究事業(協会)	調査研究事業費 産業廃棄物の3Rのリサイクルシステム、新たな再資源化技術、災害時のBCP計画・災害廃棄物処理計画の策定等に資する調査研究	3/4以内	えひめ産業資源循環協会 3Rシステム技術研究調査事業	300万円

補助金総額1,800万円